

中川村のホームページ等に関するアンケート調査

アンケート概要

期 間 令和 5 年1月20日(金)～ 2 月28日(火)

対 象 村内、村外一般

実施方法 ・回答用紙を広報なかがわ 1 月号と併せ全戸配布(1,518部(地区未加入
の直送含む))し、村内 3 か所(総務課 番窓口、チャオ情報発信コー
ナー、図書館)に設置した回収箱にて回収
・オンライン回答

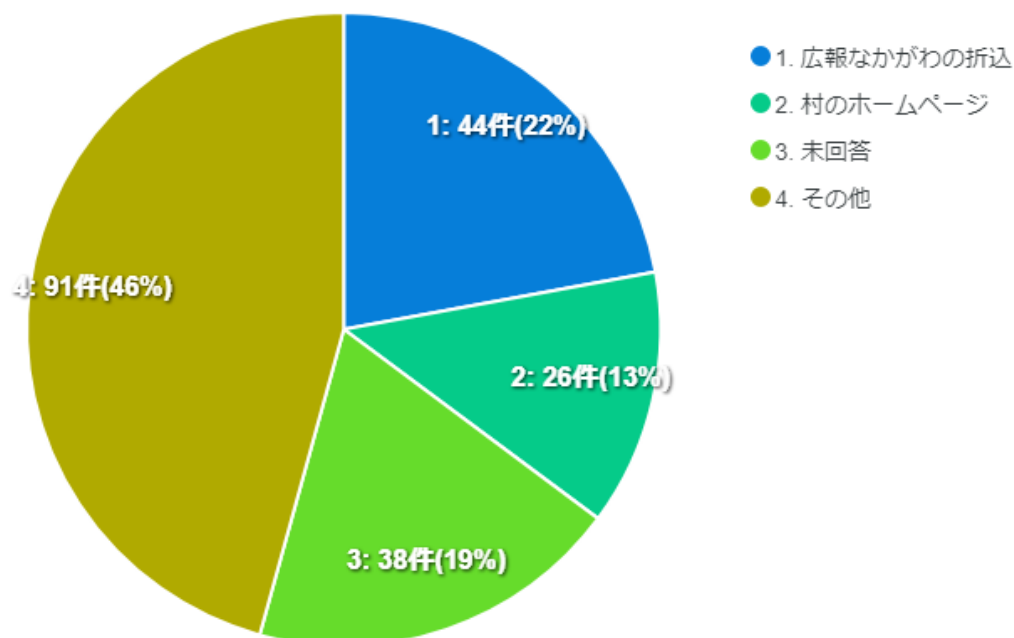
アンケート結果

回答者数 **199件**(うち、オンライン160件、回答用紙39件)

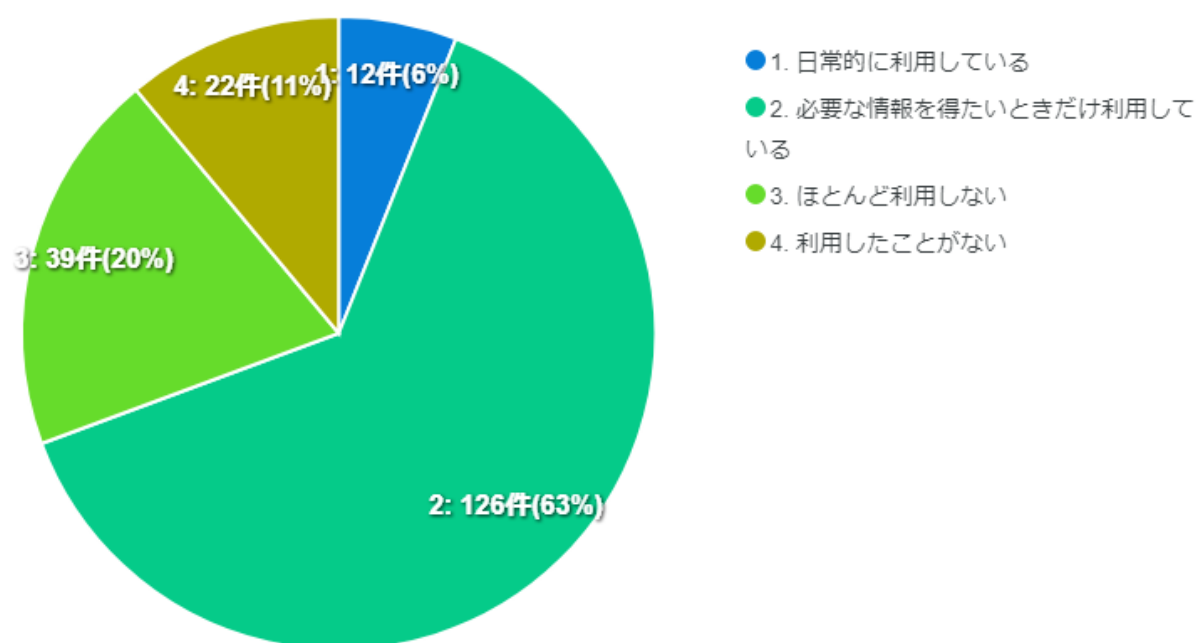
回答者住所	回答数
大草	65件
葛島	31件
片桐	94件
村外	7件
未回答	2件
計	199件

年齢分布	回答数	(オンライン)	(回答用紙)
18歳未満	1件	1件	0件
18～29歳	8件	8件	0件
30～39歳	45件	44件	1件
40～49歳	62件	61件	1件
50～59歳	25件	20件	5件
60～69歳	33件	20件	13件
70～79歳	18件	5件	13件
80歳以上	6件	1件	5件
未回答	1件	0件	1件
計	199件	160件	39件

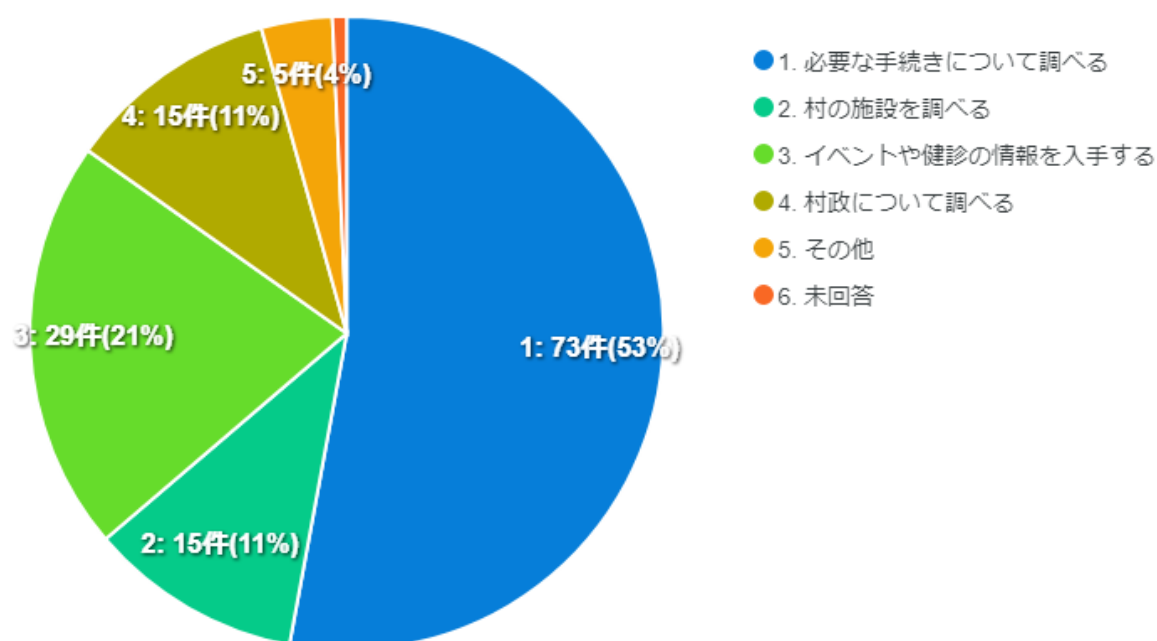
このアンケート調査はどちらでお知りになりましたか。[1つだけお選びください。]



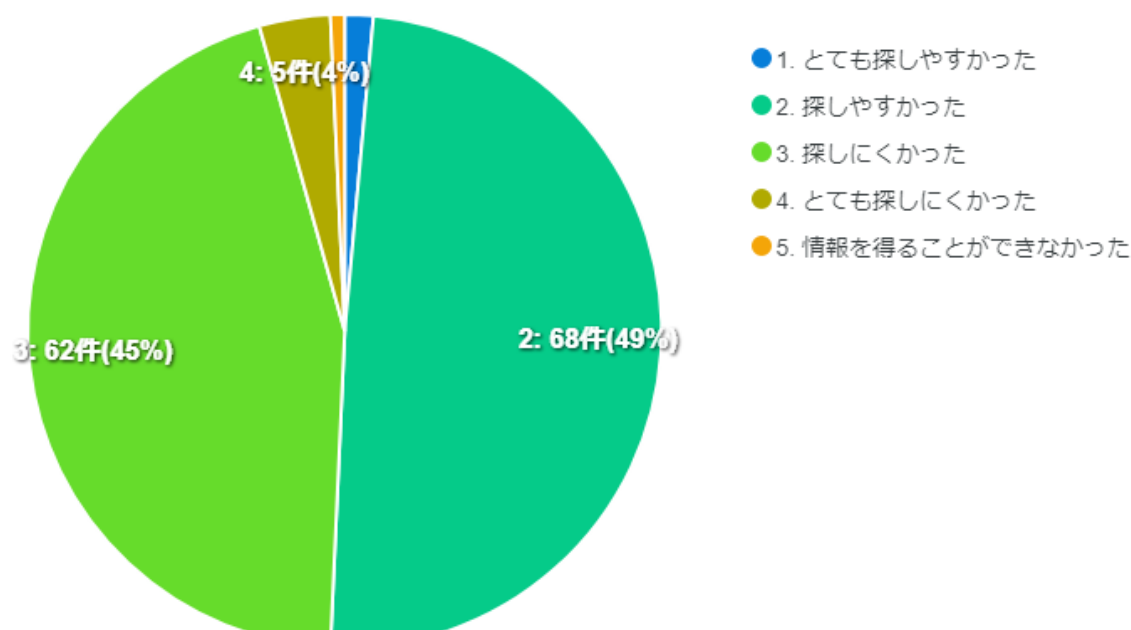
村のホームページをどのくらい利用していますか。[1つだけお選びください。]



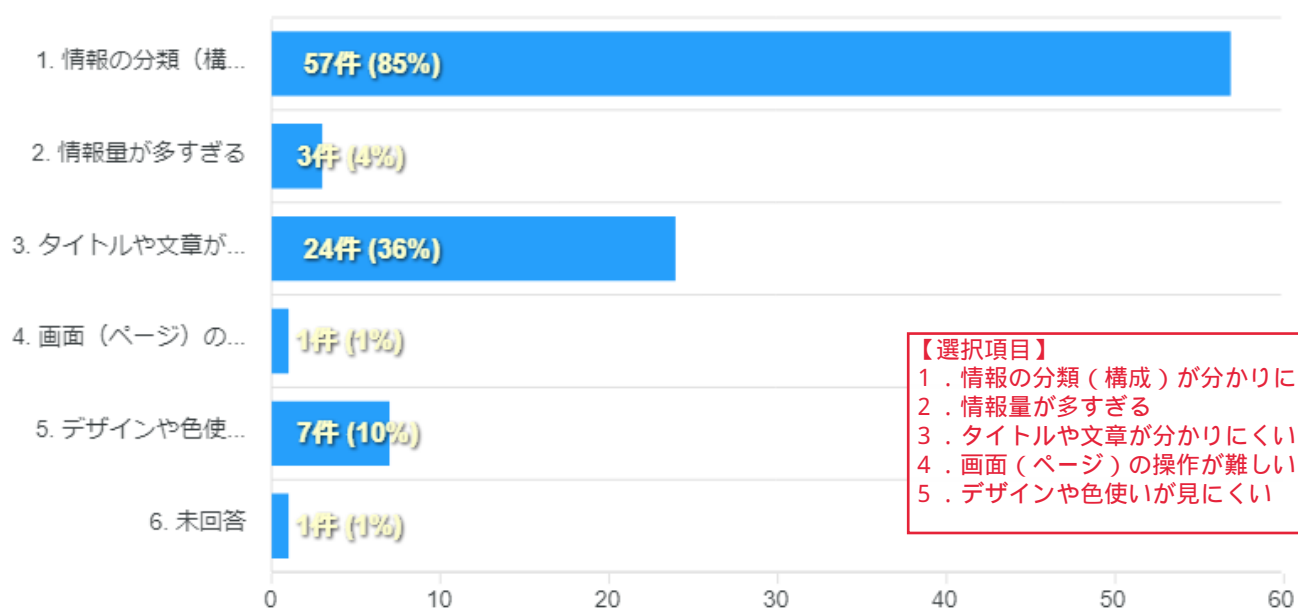
村のホームページを利用する主な目的は何ですか。[1つだけお選びください。]



村のホームページで、あなたが必要な情報は探しやすいかったですか。[1つだけお選びください。]

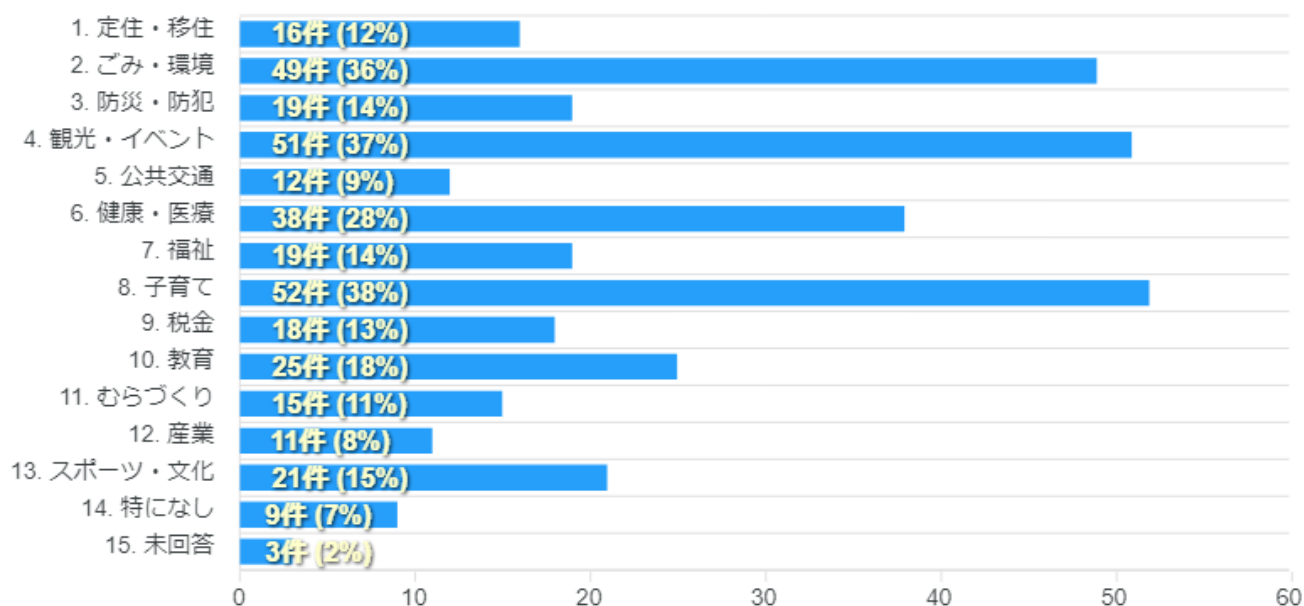


村のホームページで情報を探しにくかった理由は何ですか。[あてはまるものを全てお選びください。(Q3で「探しにくかった」「とても探しにくかった」「情報を得ることができなかった」を選んだ方にお伺いします。)]

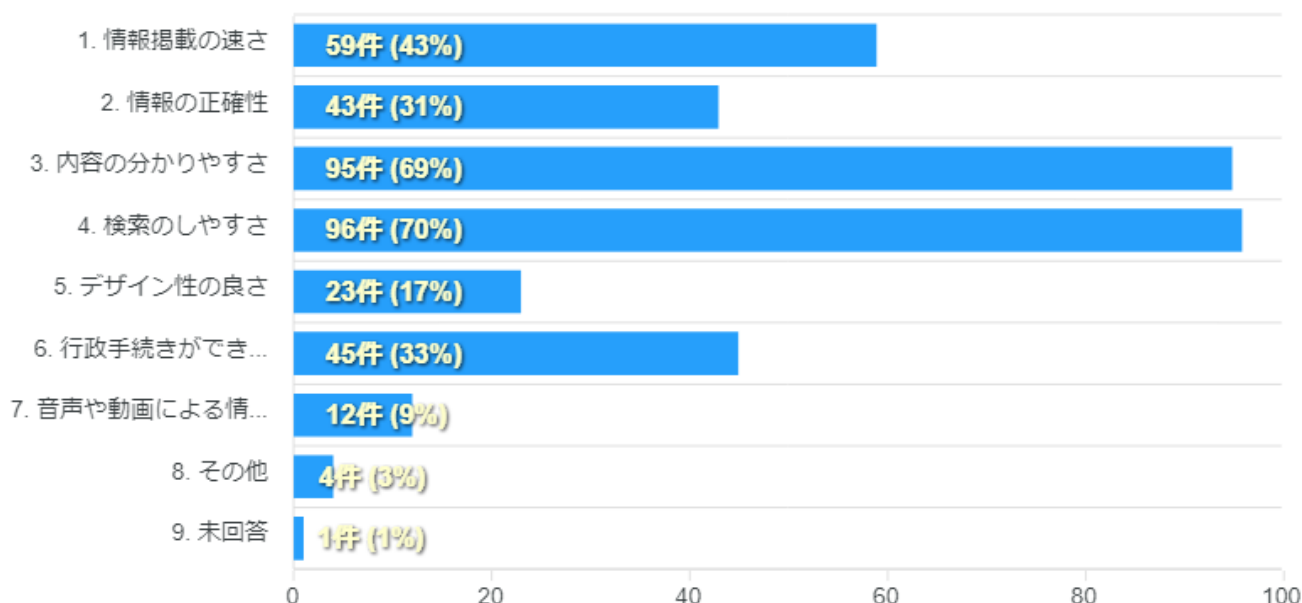


【選択項目】
1. 情報の分類（構成）が分かりにくい
2. 情報量が多すぎる
3. タイトルや文章が分かりにくい
4. 画面（ページ）の操作が難しい
5. デザインや色使いが見にくい

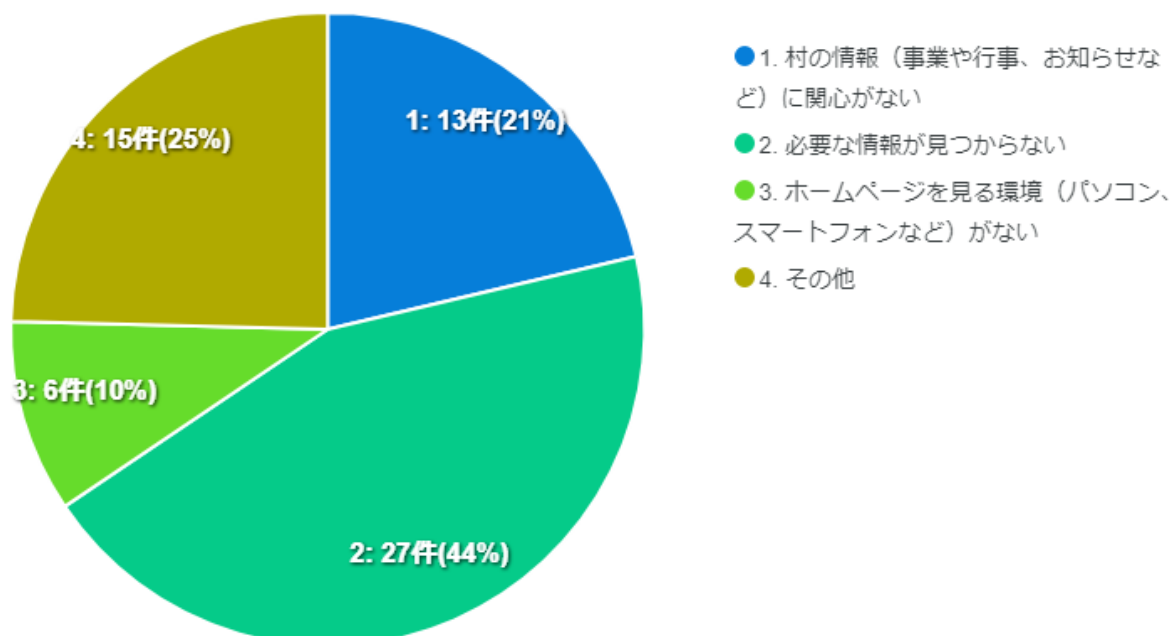
中川村ホームページでよく見るカテゴリは何ですか。[あてはまるものを全てお選びください。]



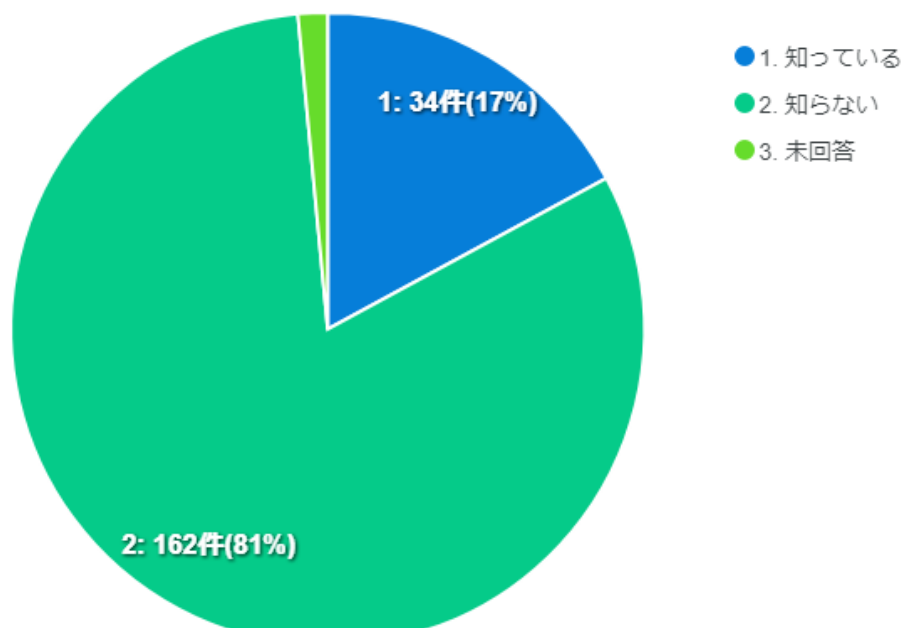
今後、村のホームページに期待することは何ですか。[あてはまるものを全てお選びください。]



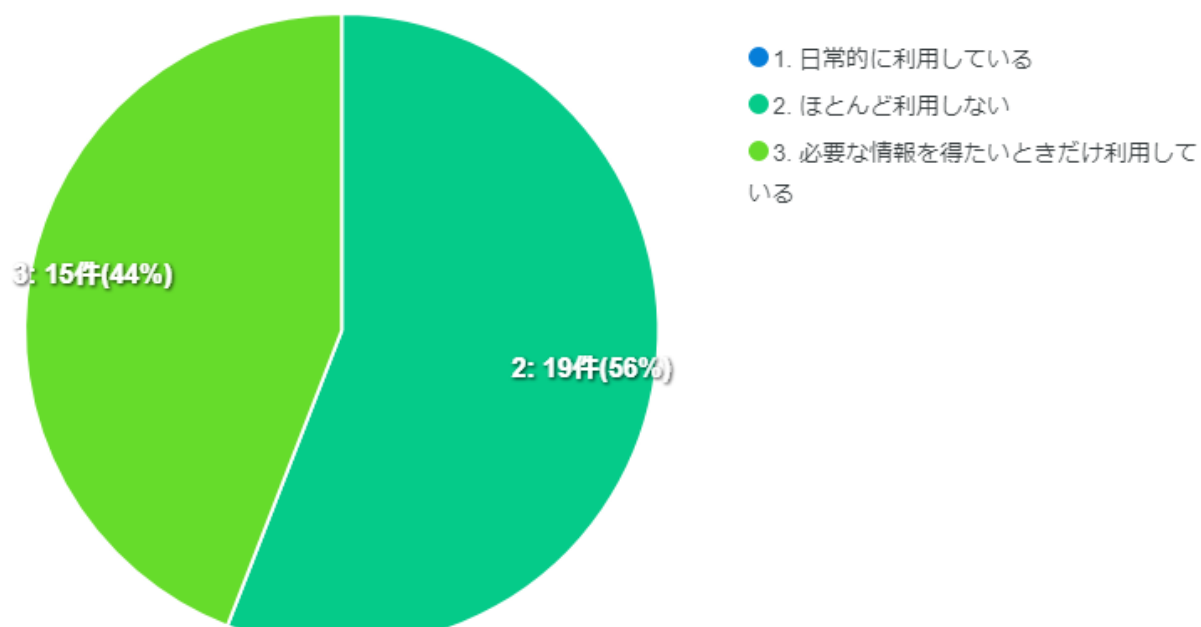
村のホームページを利用しない主な理由は何ですか。[1つだけお選びください。(Q1で「ほとんど利用しない」「利用したことがない」を選んだ方にお伺いします。)]



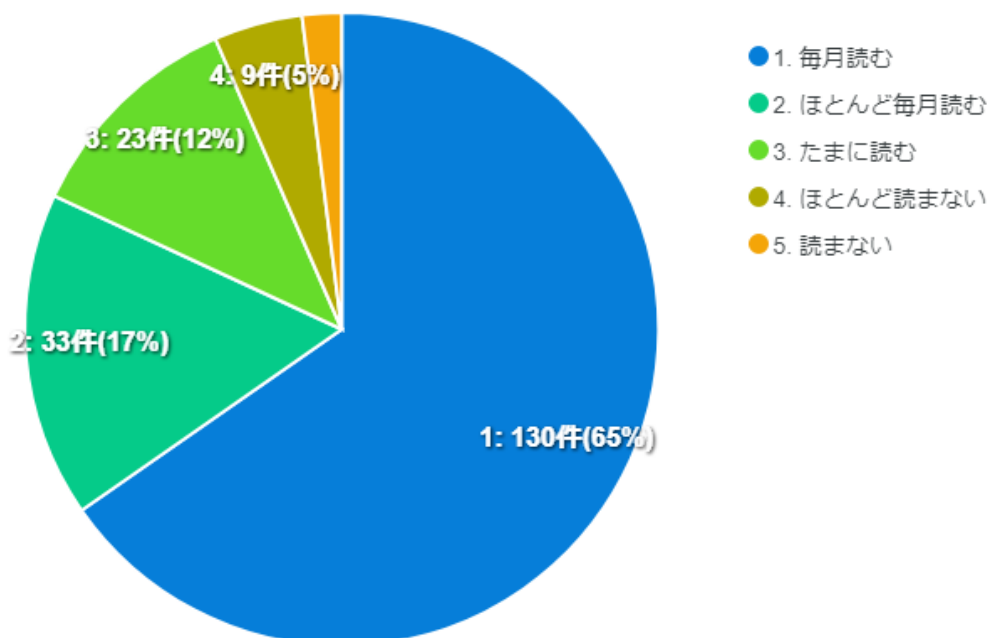
「中川村ブランディングサイト」をご存じですか。[1つだけお選びください。]



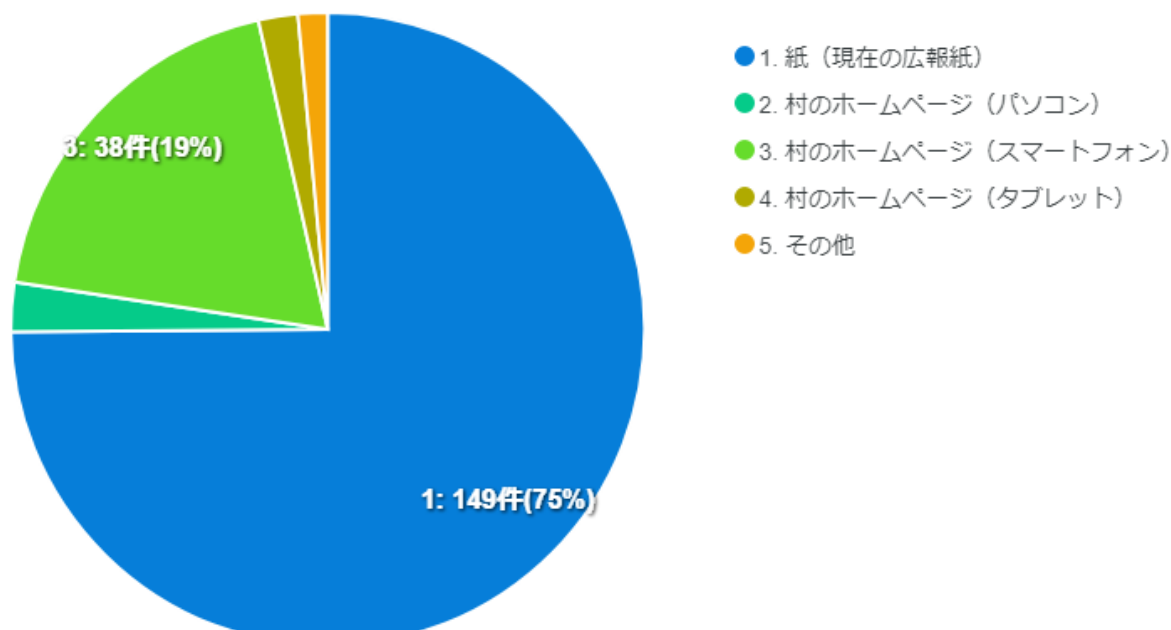
「中川村ブランディングサイト」をどのくらい利用していますか。[1つだけお選びください。]



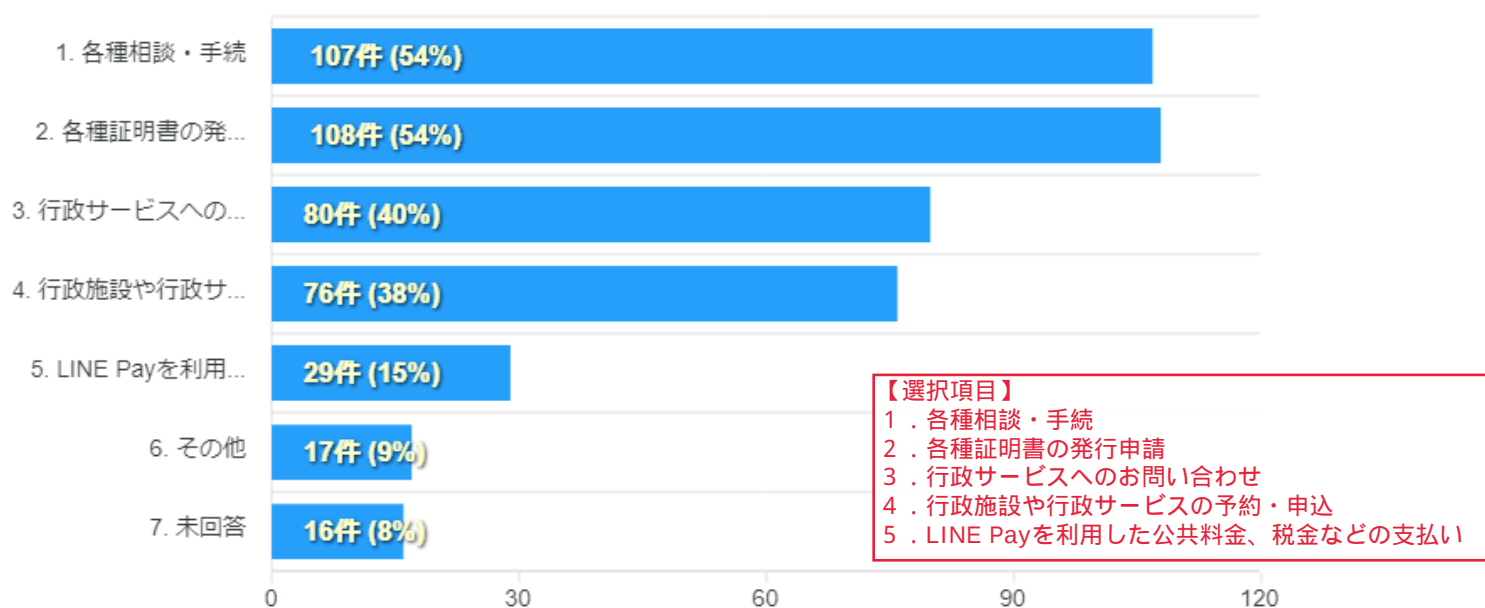
「広報なかがわ」を読んでいますか。[1つだけお選びください。]



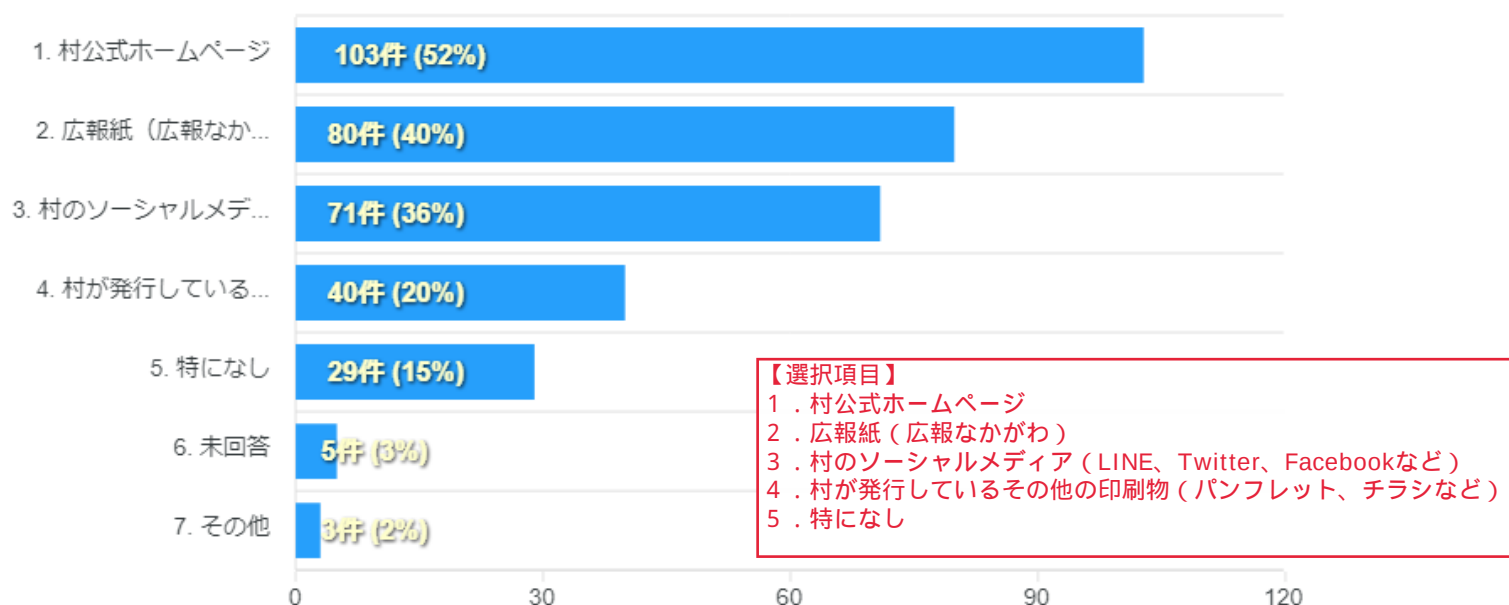
「広報なかかわ」をどのような形式で読みたいですか。[1つだけお選びください。]



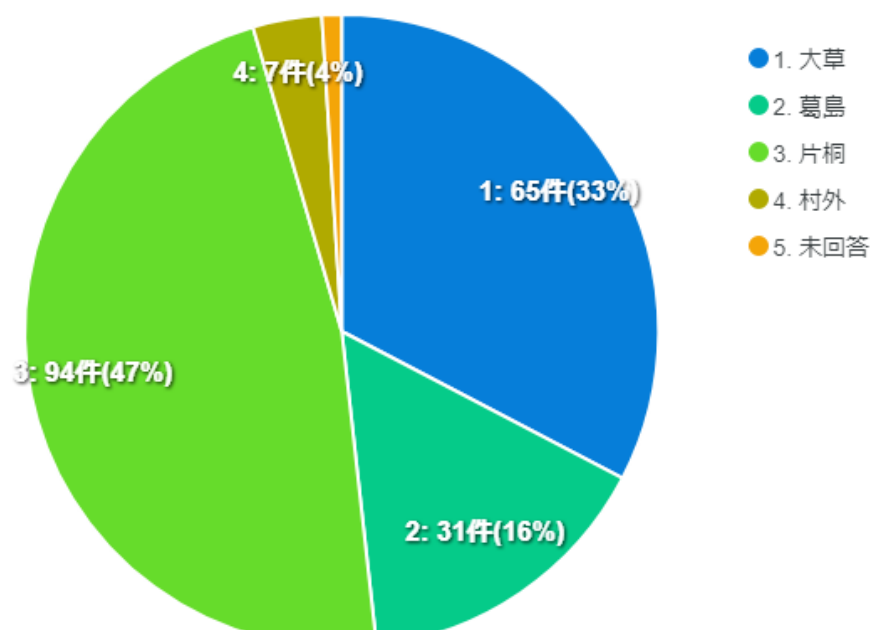
令和4年度、「中川村LINE公式アカウント」を開設しました。今後、村LINE公式アカウントで期待するサービスは何ですか。[あてはまるものを全てお選びください。]



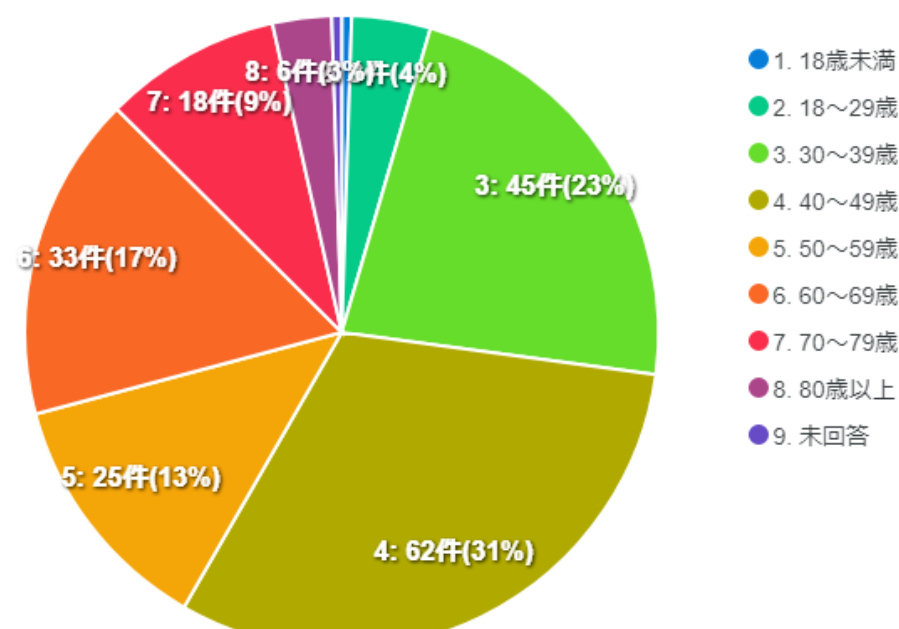
中川村において、今後、力を入れてほしい広報媒体は何ですか。[あてはまるものを全てお選びください。]



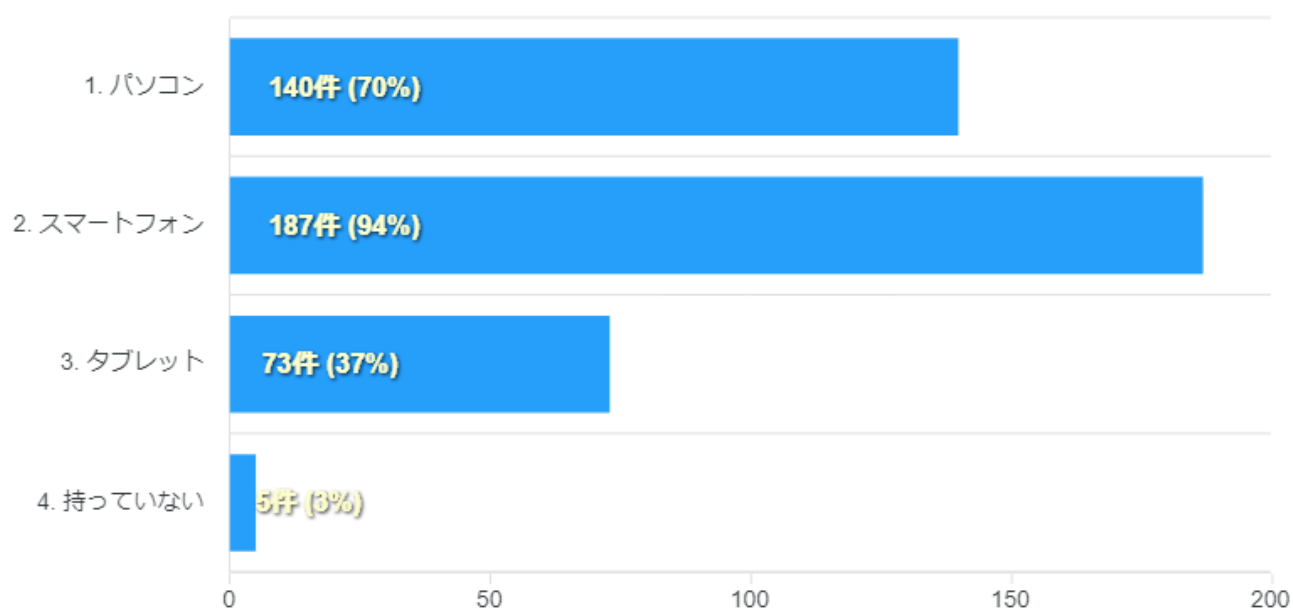
お住まいの地区はどこですか。[1つだけお選びください。]



あなたの年齢を教えてください。



パソコンやスマートフォンなどをお持ちですか。[あてはまるものを全てお選びください。]



自由記述の回答は以下のとおりです。

自由記述の回答は原則として原文のまま掲載していますが、特定の企業や個人を識別することができる回答は一部加工しています。また、同意見の回答が複数ある場合はまとめて掲載しています。

【問7】村のホームページを利用しない主な理由は何ですか。 その他

- ・ 広報なかがわを見ているから
- ・ TELで聞いた方が早い、わかりやすい
- ・ 広報誌で充分
- ・ 調べることが特にない
- ・ 知らなかった
- ・ 村外からの勤務なので。
- ・ 広報なかがわ、小学校・保育園からのお便りである程度の情報は得られているから。
- ・ 村の情報はCATVの中川村のチャンネルをよく見るため、ホームページはほとんど見る機会がない。
- ・ 携帯を使うと体によくないからほぼ利用しない
- ・ 地元の情報が気になるから

【問10】「中川村ブランディングサイト」に関して、ご意見などありましたらご記入ください。

- ・ このアンケートで初めて知りました△
- ・ 意味、内容がわからない 言葉の意味不明
- ・ 知らないので村LINEなどで広報してほしい。
- ・ 「活着ている情報が無い」イベント情報が過去のデータを見ても少なすぎる。村内の民間のイベントも（つばめマーケット、キャンプ場など）積極的にひもづけしてでものせるべき。「あなたも中川村民に」は移住者のリアルな姿が載っておらず、移住のイメージがまったくつかめない。温度感が伝わってこない。やる気無いんだなってのが感じられてしまう。
- ・ 高齢 分からない
- ・ ブランディングサイトってなに??
- ・ 中川村の特徴（他の地域との違い）が分かりにくい
- ・ 最近ですか？もっと周知したらいいと思います。

- ・まず、トップにドーンっと出てくるのが村長さんじゃなくていい。トップって一番重要で、もっと景色とか中川のいいところ一番魅せたいものを載せるべき。各々のテーマを色分けしてるのはわかるんですが、写真にも濃くフィルターがかかっていて全然いい写真に見えない。どこの誰をターゲットにしてるかわかりませんが、全体的にダサい。お隣の飯島町にも松川町にも同じようなサイトありますが、そちらのほうが断然今っぽいし、おしゃれでいいなと思います。載せている情報だったり、写真が綺麗で魅せ方がうまい。例えば村の特産品紹介のページで歴史があるのはわかりますが、あんなに文字ばかり並んでいたら見る気しません。清流から生まれた銘酒とうたってるのに川の写真の色の悪さ個人の顔載せるよりもっと商品の写真や店舗、働く人たち、製造過程の写真なんかが載ってた方が目を引くと思います。私が村外の人だとして、今のブランディングサイトを見たとしても足を運びたいとは思いませんね。村内の私が知りたいイベントスケジュールは2023載ってないので使えません。
- ・先日ブランディングサイトを見ようとしたのですが、思う所になかなか行けずに迷いました。ブランディングサイトのそれぞれの窓口からどんな商品が見れるのかわからない。商品のページに行けるのか、それぞれのお店に行けるのか？どんな人が何の目的でここに訪れているのか？どんな人のためにどんな商品を見せたいのか？目的がはっきりしてないのかなと感じました
- ・よくSNSやネットを見るほうだが、『知らない』ということは認知が低すぎるのでは？と思う。インスタやツイッター、ラインなどでまずは村民からでも認知度を上げたほうが良いと思う。村民が知らなければ、よその人が知っているはずがない。
- ・分かりやすく説明してほしいです。
- ・最新情報はあまり知らないです
- ・新しい事を次々とやっていくのではなく、既存のHPを使いやすくする。あるものを工夫してお金を掛けずにしてほしいです。
- ・中川村で育ったが、現在他県に住んでいる20代30代40代にもアンケートをとってみてほしい。ブランディングの前に中川村はまず、中学校の制服とジャージを新しいものにしてあげて欲しい。何十年前のデザインで、時代に合っていない。検討してほしい。
- ・なんのことかわかりません。
- ・よくわかりません
- ・このアンケートをキッカケに「中川村ブランディングサイト」を知り、初めて閲覧しました。新しいもの（中川村ブランディングサイト）を立ち上げるより、中川村のHPの内容や在り方をもっと掘り下げ、充実させる方が得策かと感じました。
- ・ブランディングという言葉。中川村という本来飾り気の無いところが魅力の村なのにしっかりこないというか、ブランディングって一体どういうことなのかよくわからないまま使っている気がします。ブランドイメージというのは一般の共同幻想で成り立っている価値観だと思います。そんなあやふやな価値観を発信者自らがブランディングという言葉を使ってアピールするのは正直言ってカッコ悪いなという思いです。作家やアーティスト、その他ユニークな生き方をしている人

達を紹介するのであれば、その真摯な価値創造の姿勢や堅実さを、もっと踏み込んだところまで紹介してほしいと思います。ブランディングなんていう言葉は中川村には似つかわしくないと思ってます。

- ・ 何の事だかわからない。
- ・ 悪くは無いと思いますが、さっぱりしていて無個性に感じます。松川町(だんだん好きになる旅)に比べると残念ながら村の魅力を出せていないのではないのでしょうか。また、ツバメマーケットなどのイベントも、イベント情報にアップデートされていないので、サイト自体が生きて活用されていないように感じます。
- ・ 残念な内容である。そもそもブランディングという名称も会議室内で留めておくべきで、公にすることではない。かえって陳腐な印象を与えかねないと思う。初期の頃と比べると、内容は充実したようには思うが、例えばアーティストという言葉や、スポットの当て方についても偏ったフィルターであったり、内輪感は否めない。果たしてそれが対外的に効果的なのか、また魅力的なものなのか、もう少し議論があっても良いと思う。誰に向けたサイトづくりなのかよくわからない。
それよりも、村本来の魅力、日常をもっと丁寧に伝えるべきである。4,712人もの村民がいる訳ですし、外へ向けて発信するのであれば、村内で暮らし人々を、村内の教育を、行政を、そして素晴らしい景観を。見たい知りたいのは、そんな中川村の日常の暮らしではないだろうか。
- ・ ブランディングサイトという言葉自体が、発信者目線で何だか分かりづらく、閲覧者目線ではない感じがします。「つまり、誰に何を伝えたいのか」「このサイトを見た人にどんな変化や行動が起きて欲しいのか」を考えてから、立場を閲覧者側にしたときに、「つまり、私(閲覧者)はどういう情報をここで得られるのか？そのことで、どんな良いことがあるのか？」という目線での表現をすると、いいのではないかと思います。
- ・ 観光客の方が見るものですか？よくわからない

【問12】「広報なかがわ」をどのような形式で読みたいですか。 その他

- ・ 読もうと思えるデザインにするべき。基本的に紙で読みたいが、現状の「広報なかがわ」のデザインには不満。レイアウトを工夫してより多くの方に読もうと思ってもらえるようにするべき。たとえ、文字数が減ったとしても、不足分の情報は「より詳細はWEBで」というような形でQRコードにするなど。

【問13】令和4年度、「中川村LINE公式アカウント」を開設しました。今後、村LINE公式アカウントで期待するサービスは何ですか。 その他

- ・ わからない
- ・ なし
- ・ 利用したことがない
- ・ 使い方が分からない、何でも電子メディアが良いとは思えない
- ・ みたことがないのでわからない

- ・ 情報を知る機材がない
- ・ 利用予定無し。
- ・ スマホ、パソコンなし
- ・ アンケート、イベントのおしらせなど
- ・ LINEを行政がつかうのかは反対
- ・ 特に期待しない
- ・ 村や近隣市町村で行われるイベント紹介、村民が活躍するイベントや活動紹介
- ・ これ提案！みたいな感じで気軽にこれあったらいいなを提案できたり、今回のような村からのアンケートに回答できる機能があると便利です！村の重要な連絡は今LINEで届くんですが、イベントに関するリマインドの配信とかもあったらいいなと思います。
- ・ 最新情報を通知してほしい
- ・ LINEを利用していない。
- ・ 中川村HPの更新通知（可能であれば内容別）
- ・ 村のイベント情報(共催、後援含む)、営農情報

【問14】中川村において、今後、力を入れてほしい広報媒体は何ですか。 その他

- ・ 動画
- ・ その他の印刷物はお金がかかりそうね。時として必要だけど
- ・ LINEで防災メールの内容がくるとありがたい。

【問15】中川村の広報全般に関して、ご意見などありましたらご記入ください。

- ・ 連絡、報告が中心で、もう少し産業振興についての話題が欲しい。地域おこし協力隊に対する期待は大きいですが、活動記については自分の個のことと思いますが、基本である「地域協力活動」「定住定着に向けて」の取組報告もお願いしたい。(大草・60～69歳)
- ・ 離れてくらす中川村の父母のために、中川村の防災メールを登録している。有線は聞こえにくいようで助かる。ホームページはあまりみない。Facebookはみる。銀杏並木や、坂戸の桜は、故郷を思い出すために楽しみにしている。県外にいますが、家族は中川村にいるという人にもSNSはとてもありがたい。今後も運用よろしくお願い申し上げます。また、以前住んでいた福岡市が、ラインで粗大ゴミの回収予約やその支払いもできた。月に一度、市の広報内容も送られてきたりしたので使いやすかった。市町村規模が異なるが、一度、参考までに登録してみたい。(村外・40～49歳)

- ・民間のメディアがどんどん進化している中で、公共広報は完全に周回遅れだと思っている。村民の政治意識の低さの一端は「広報の魅力のなさ」もあると思う。危機感を持ってこの広報の問題に向き合って欲しい。(大草・40～49歳)
- ・中川村のホームページは、欲しい情報になかなか行きつかないのが残念です。「この先に欲しい情報があるに違いない!」と思ってクリック(タップ)したのに、「自分が求めていたのとは違う情報だった…」ということが結構あります。クリックする回数が多くなるほど、欲しい情報にたどり着く前に「離脱」してしまう人もいます。発信者目線ではなく、見る人目線で作ることも必要です。ホームページを目的なく見にくる人はごくわずか。欲しい情報があるから、ホームページにくるわけです。見る人の関心は、「自分の困りごとや要望が解決するかどうか?」「欲しい情報がすぐに手に入るかどうか?」です。各部署ジャンル別の検索と平行して、「困り事」「要望」別で検索できるようにするのもいいと思います。「水道管が破裂した」「イベントで施設を借りたい」「コロナに罹った」「村の行事の日程を知りたい」「子育てで困っている」「中川村にふるさと納税したい」「中川村の宿泊先は?」といった見る人の関心事からの検索です。こういった関心事は、キリがないので、チャットボット(AIによる自動応答)の利用もよいかもしれません。まだ精度が怪しいところもありますが、AIが学習するほど、よいものになっていくはずなので、今後、確実に進化していく機能だと思います。他の市町村や企業ホームページなどで分かりやすい!見易い!使いやすい!というものを参考にするといいのではないのでしょうか?また、村の魅力発信はSNSを活用するのが、いいと思います。スピーディーで、フレッシュな情報が提供できるのでいいと思います。お金がかかってもいいので、是非ホームページの充実はやって欲しいです。優先は、まず村の住民が使いやすいホームページです。また、もし新しくホームページを作るのであれば、後から変えることは難しいこともあると思うので、決めてしまう前に、小学生から年配のかたまで、多様な世代と分野の方に、ホームページ試作時のモニターをお願いしてはどうでしょうか?いずれにしても熱意と専門知識を持つ専門の担当者が必要だと思います。また、情報が伝わりやすく、読みたくなるデザインの力が必要だと感じます。ここは、しっかり投資したほうがいいと思います。最後に、このようなアンケートをしていただき、ありがとうございます。中川村の温かさや魅力が、内の人にも外の人にも伝わる情報発信を期待しています!!(片桐・40～49歳)
- ・中川村のありのままを発信したらいいと思います。後、中川村民にもっと色々発信して下さい。広報も子育て世代は読んでいる時間もなかなかないです。職場の休憩中に携帯から情報が得られたらありがたいです。広報分の印刷物が減ればその分子供たちに利用して頂きたいです。無駄を減らして、少ない財源を新しい媒体で活用発信して行くなど、他にも考えていていただきたいです。(大草・40～49歳)
- ・地区総代会や役員会の議事録などの内容を知りたい。決定事項や検討事項の概要。(大草・60～69歳)
- ・村で働いている人、活躍している人を紹介したりまだまだ知らない農家さんの方々の紹介をしたり販売しているものを紹介したりしてほしい。行政の収支報告も大切だと思いますが、そういったこともしりたい。(片桐・30～39歳)
- ・村が主催するイベント等のお知らせは、基本的に広報紙又は公民館報に掲載することを原則とし、別チラシは無くす努力を。
ホームページに気象情報システムが掲載されているが、気温は夏場の熱中症予防

や農作物の凍霜害対策に、降水量は災害予防等に活用できる。ケーブルテレビでも情報提供されているが観測点や情報量が少なく、ホームページからはより多くの情報が得られる。ホームページに気象情報システム情報が掲載されていることを知らない村民が多く、周知を図るとともに、ホームページ上での検索をやすく改善を。(葛島・60~69歳)

- ・税金と配布の労力を使っていますので、効率化のご検討をお願いします(片桐・50~59歳)
- ・新しくできたお店などの紹介やイベントなど載せて頂けると楽しみが増えます!(大草・40~49歳)
- ・新しい取り組みをする事は悪い事ではないと思います。ただ、元々住んでいる住民が取り残されている気がします。成人され方々からお年寄りまでどの年代でもそう感じます。(大草・40~49歳)
- ・情報の正確さやアップデートの迅速さを第一に心がけて頂きたいです。すぐに要らなくなるような紙媒体に必要以上にお金をかけないでください。(片桐・60~69歳)
- ・小さな紙面で良く出来ています。わかりやすいです。(大草・70~79歳)
- ・若くて新しい議員さんが入り、議会だよりや内容や活動に興味を持つようになりました。議会だよりの表紙の絵もとても素敵だなと毎回楽しみにしています。(葛島・30~39歳)
- ・自主番組の復活を望みます。(片桐・30~39歳)
- ・紙で読むことに慣れ親しんでおり、他はあまり使わないので、タブレットの読書って信じない。(片桐・60~69歳)
- ・紙だと情報を見落としがちなので、LINE等の活用をお願いしたい。(大草・40~49歳)
- ・子ども議会でも中学生から指摘があったと思いますが、SNSやホームページの活用が大事な時代だと思います。パッとみた時に目に入るのはやっぱり文字より写真なので。綺麗な写真、デザインの工夫村外の人にも中川のいいところをもっともっと伝わるな広報をお願いしたいです。(片桐・30~39歳)
- ・最新の正確な情報が受取りたい。ホームページでも、LINEでも、Twitterでもなんでも構わないので、集約されているとありがたい。「ここを見て載っていなければ、大丈夫だな。」のように使えとありがたい。画像データを貼り付けただけのものは、見にくいのであまり見ない。申請の締め切り。行事。火事。通行止め。保育園、小学校の休校等。(大草・40~49歳)
- ・今回のアンケート問7で、紙にはその他欄があり書き込めるが、このサイトでは選択記入が出来ないのはおかしい。(片桐・60~69歳)
- ・広報誌は村の情報源としてとても大切だと思います。行事、イベントなども確認でき、度のコーナーも楽しみです。村のホームページも良いが、紙はやめないうで欲しいです。(片桐・60~69歳)
- ・広報誌で足りる。ホームページ等は使えない、なじめない。(葛島・80歳以上)

- ・広報なかがわなどの紙媒体の配布物を極力減らして欲しい。また、紙媒体の広報物については各戸に直送して欲しい。地区未加入者には直送し、村や地区の活動に協力している地区加入者が、さらに各戸を回って広報物を配布している現状に著しく不公平感を覚える。(片桐・30～39歳)
- ・公式LINEについて配信が多いと重要な情報が受け取りにくいなぜそのように思ったかという例えばゴミの日のお知らせは重要ではないけれどリマインド的に使っているため登録しているが最近消防からの注意勧告的なメールは毎日同じように流れてくると受け取りたくないしかし、「村からの重要なお知らせ」という項目であるなら登録する必要がある多くの情報のやり取りがLINEであるため本当に重要なお知らせが来ても読めないことが多い
HPについて村内の方向けに、各科のメールアドレスはわかりやすく載せてもいいのでは？載せているが探しにくい。HPの専門家に相談したらどうか？またはHP管理部署があるならば見やすいHPを作っている他市区町村を参考にする。移住者やこれら(HPで探したんだけど見つからなかったと言った)の問い合わせは必ずご意見として残すよう各部署に徹底する。
日常のちょっとした会話の中で、こう言ったお困りごとがわかると思うのです。そう言ったお困りごとを聞いた時、すぐに収集できる場所があった方がいいのでこんな小さな村なら付箋に書いて、指定の場所に貼る。職員用オピニオンボックス？が日常でよく使われるようになれば、職員の悩みも聞けるかも？(片桐・40～49歳)
- ・見栄えのするホームページの作成を期待します。(片桐・60～69歳)
- ・休日当番医は上伊那郡のみ掲載されていますが、下伊那も近いので載せてほしいです。多世代で住んでいると親世代が広報は見て子世代はあまり見ていないように感じます。SNS等を活用して村内外に発信していくことを期待します。(片桐・50～59歳)
- ・久しぶりにHPを開きましたが、以前より見やすくなりましたね。(大草・30～39歳)
- ・観光協会のSNS(Twitter、Instagram)の内容が非常に限定されていて勿体無く感じます。例えば秋になると、中川村の秋のイベントはきっと沢山あるのに、銀杏の写真しか上がりません。以前問い合わせた際は「村外に向けた観光資源しか取り扱わない」と返答をいただきましたが、可能であれば、「観光資源」の幅をもう少し広く取っていただきたいです。
小さな村と言っても、地区や年代によって多種多様な活動・イベントが行われていることは、行政職員の皆様もご存知と思います。しかし、自分の属さない地区・年代のイベントに対して、知る機会は非常に少ないです。地域の活性化を図るには、村民が村のことを知ることも必要ではないでしょうか。SNSはその入り口として非常に優秀です。一番村についての情報が集まる行政が、その役割を担ってくださることを期待します。(観光協会の仕事の範囲外であれば、むらづくり係などで別途SNSの運営をご検討いただけるとありがたいと思います。
また、文化センターのFacebookなど、行政まわりのSNS同士の連携なども行われると情報が入って来やすくなってありがたいです。)(片桐・18～29歳)
- ・観光の情報量が少ないのと村の情報発信が足りないのが残念(大草・50～59歳)
- ・何度アンケートを取っていただいても良いので、是非利用者目線での使いやすさ等を考慮していただけると嬉しい。また、アンケートの結果をまとめたものを見る機会があると、他の人の意見も参考にできるため有難い。(葛島・30～39歳)

- ・移住希望者に対する自治会情報の開示、地区の戸数、自治会費、共同作業の内容
(大草・50～59歳)
- ・以前 中川村ホームページに掲載していた「最近のできごと」を再開してほしい。
身近な人の話題がタイムリーに出ていたので、村ホームページが身近に感じた。
(片桐・60～69歳)
- ・もっと宣伝してください。(葛島・40～49歳)
- ・もっと積極的に、各分野の幅広い情報が発信されると良いと思います。(葛島・40～49歳)
- ・ない(葛島・80歳以上)
- ・PC文化だけにいかず、紙文化も大切にしてください(大草・70～79歳)
- ・LINEでゴミ収集日の連絡がくるのは便利です。(片桐・30～39歳)
- ・HPが見れない高齢者にも情報が行き届くようにしてほしい。全員がSNSやインターネットを利用しているわけではないので。(片桐・50～59歳)
- ・『伝えよう』『知ってほしい』想いが非常に弱いと感じる。このご時世なので使える発信ツールはすべて使って、老若男女に伝える努力がかなり必要だと思う。中川村が好きだからこそ、情報の伝え方の下手さにやきもきする。(片桐・30～39歳)
- ・「広報なかがわ」は一緒に入ってくるものも含めてとても愛読しております。編集される皆様のご熱意やご苦勞を感じながら毎月読ませていただいております。個人的には紙媒体が好きです。(葛島・60～69歳)
- ・(ホームページ)パンくずリストがあるんだから、グローバルナビゲーションはやめてほしい。(LINE)火災予防は理解できるが、消防署からのLINEが1日2回は多すぎる。(片桐・40～49歳)